

内閣総理大臣杯争奪
第39回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2010年5月3日 16時00分開始

1回戦

東京体育館 B - 1

Harder's 函館
(北海道) 40

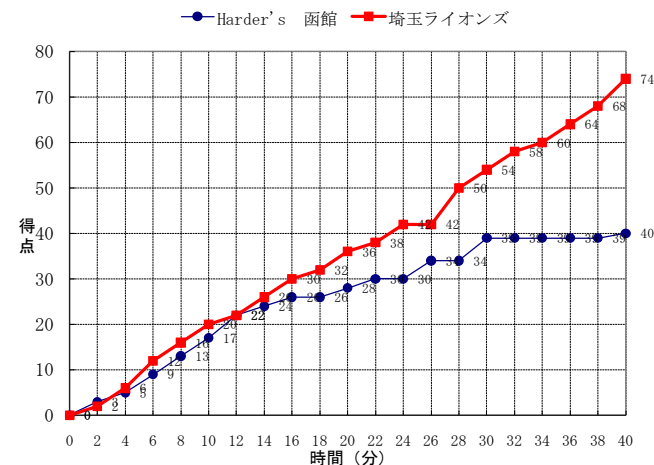
17 1クォーター 20
11 2クォーター 16
11 3クォーター 18
1 4クォーター 20

74 埼玉ライオンズ
(関東)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 4	松野 寿 (3.0)	2	0	1	0	-	-	5	4	斎藤 智之 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0
* 5	山田 行広 (4.5)	12	0	5	2	-	-	2	* 5	永田 裕幸 (2.0)	6	0	3	0	-	-	3
* 6	竹森 敬高 (3.0)	6	0	3	0	-	-	1	7	水本 栄喜 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
7	池田 伸二 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-	9	原田 翔平 (1.0)	0	0	0	0	-	-	1
* 8	坂下 伸二 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0	* 10	森田 俊光 (2.0)	10	0	5	0	-	-	1
* 9	田中 聖一 (2.0)	20	2	5	4	-	-	2	11	渡辺 謙治 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0
10	田中 得政 (3.0)	0	0	0	0	-	-	1	12	伊藤 雄二 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-
11	小田原 寛文 (2.0)	0	0	0	0	-	-	3	* 13	篠田 匡世 (3.5)	24	0	12	0	-	-	4
									15	青木 大 (1.5)	0	0	0	0	-	-	0
									17	大館 秀雄 (4.0)	2	0	1	0	-	-	0
									18	増田 洋司 (3.0)	-	-	-	-	-	-	-
									19	三元 大輔 (3.5)	8	0	4	0	-	-	3
									* 20	宮澤 厚史 (2.0)	4	0	2	0	-	-	2
									* 21	佐藤 渉 (4.5)	20	0	10	0	-	-	3
コーチ	山田 広喜								コーチ	信太 奈美							
Aコーチ	安立 直子								Aコーチ	加固 穂							
マネージャー	小林 めぐみ								マネージャー	松田 伊代							
マネージャー	春山 絵里子								マネージャー	原口 愛子							
マネージャー									マネージャー	永盛 雅子							
合計		40	2	14	6	0	0	14	合計		74	0	37	0	0	0	17

主審： 柴田 洋児
副審： 泉谷 義明
副審： 正門 京子

得点経過



〔戦評〕

【1Q】Harder's函館が#4, #5, #6, #8, #9、埼玉ライオンズは#5, #10, #13, #20, #21のオーダーとなり、函館スタートとなる。前半は函館#9、埼玉が#21を中心に試合を進めていく。両チームとも序盤、緊張からかファウルが多く、点数も拮抗した状態となる。後半から埼玉#21, #13のシュートが決まりだし、埼玉3点リードで終了。

【2Q】函館#9の3点シュートで同点にするも、すぐに埼玉#20が同点とする。その後、お互いに点を取り合うも、試合の流れを自分のチームに引き寄せられないまま、埼玉リードで進んでいく。函館#9のシュートが入りにくくなるにつれて、少しずつ流れが埼玉に傾き始める。流れを取り戻そうと函館#5もシュートを打つが、埼玉#5のバックシュートを始めてとするシュートが決まり埼玉8点リードで終了する。

【3Q】2Q後半から流れを掴んだ埼玉は、ディフェンスも決まりだし函館#9のシュート成功率が落ちていく。チームの中心であった函館#9を抑えられた函館に対して、埼玉は#5から#15にメンバチェンジする。中盤、5ファウルにより函館#4が退場となり#10が入るも、埼玉の速攻を止めることが出来ない。埼玉は#10を中心に確実に点数を重ねていくのに対し、函館はシュート成功率が低下していく。埼玉の流れを止めるべく、残り1分26秒でタイムアウトを取り、その後に函館#9がシュートを決めるが、その後に埼玉#21がシュートを決め、試合の流れを掴み埼玉15点リードで終了する。

【4Q】シュート成功率が低下した函館に対して、埼玉は#21のシュートをはじめとした速攻が決まり、点差を開けていく。埼玉#5, #10, #20から#4, #15, #13にチェンジする。高さを活かしたディフェンスに函館#9を中心とするプレーが難しくなった函館はシュートするも、本来のシュートを打たしてもらえず、ゴールを捕らえることなく時間が過ぎていく。残り15.2秒の函館#9のフリースローによる得点のみとなった。埼玉の一方的な第4Qとなり、埼玉が34点リード